

C08G 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物（発酵または酵素を使用して所望の化学物質もしくは組成物を合成する方法またはラセミ混合物から光学異性体を分離する方法 C 1 2 P）[ 2 ]

#### 注

- ( 1 ) 化合物の治療活性は、サブクラス A 6 1 P にさらに分類する。[ 7 ]
- ( 2 ) このサブクラスのそれぞれのメイングループにおいては、グループ C 0 8 G 1 8 / 0 0 が他のグループに優先する。もし重合体が適切なグループに分類される特定の結合を形成する反応によって得られる場合は、さらに分類を付与する。[ 2 ]
- ( 3 ) このサブクラスではラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、最後の適切な箇所に分類する。[ 2 ]
- ( 4 ) このサブクラスは、このサブクラスに分類しうる高分子化合物を形成する単量体に基づく組成物も包含する。[ 7 ]
- このサブクラスにおいては：[ 7 ]
- ( a ) 単量体が定義されているなら、形成される重合体に従ってグループ C 0 8 G 2 / 0 0 ~ C 0 8 G 7 9 / 0 0 , C 0 8 G 8 3 / 0 0 に分類する；[ 7 ]
- ( b ) 単量体は定義されているが、組成物がこのサブクラスの 1 つのメイングループ内に分類できない場合は、その組成物はグループ C 0 8 G 8 5 / 0 0 に分類する；[ 7 ]
- ( c ) 配合成分自体が重要である場合は、サブクラス C 0 8 K にも分類する。[ 7 ]

#### サブクラス内の索引

アルデヒドまたはケトンから得られる高分子化合物	2/00-16/00
ポリアセタール	2/00, 4/00
イソシアネートまたはイソチオシアネートから得られる高分子化合物	18/00
エポキシ樹脂	59/00
主鎖に連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物	61/00-79/00
炭素 炭素連結基	61/00
酸素を含む連鎖	63/00-67/00
窒素を含む連鎖	69/00-73/00
いおうを含む連鎖	75/00
けい素を含む連鎖	77/00
炭素、酸素、窒素、いおう、またはけい素以外の原子を含む連結基	79/00
単量体の不存在下に重合体を相互に反応することにより得られる高分子化合物	81/00
その他の高分子化合物	83/00
一般的方法	85/00
2/00 アルデヒドまたはその環状オリゴマーのまたはケトンの付加重合体：それらと 5 0 モル%未満の他の物質との付加共重合体 [ 2 ]	
2/02 ・波動エネルギーまたは粒子線により開始される重合 [ 2 ]	

2/04	・分子量に影響する化合物を用いることによる重合、例、連鎖移動剤 [ 2 ]
2/06	・触媒 [ 2 ]
2/08	・ホルムアルデヒドの重合 [ 2 ]
2/10	・ホルムアルデヒドの環状オリゴマーの重合 [ 2 ]
2/12	・アセトアルデヒドまたはその環状オリゴマーの重合 [ 2 ]
2/14	・グループ C 0 8 G 2 / 0 8 ~ C 0 8 G 2 / 1 2 に分類されないアルデヒド単独の重合 [ 2 ]
2/16	・ケトン単独の重合 [ 2 ]
2/18	・アルデヒドまたはケトンの共重合 [ 2 ]
2/20	・他のアルデヒドまたはケトンとの [ 2 ]
2/22	・エポキシ化合物との [ 2 ]
2/24	・アセタールとの [ 2 ]
2/26	・炭素 炭素不飽和を含む化合物との [ 2 ]
2/28	・重合後の処理 [ 2 ]
2/30	・後処理による化学的変性 [ 2 ]
2/32	・エステル化によるもの [ 2 ]
2/34	・エーテル化によるもの [ 2 ]
2/36	・解重合によるもの [ 2 ]
2/38	・高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重合することによりつくられたブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]
4/00	アルデヒドまたはケトンのポリアルコールとの重縮合体；環中に少くとも一回 O C O 基が現われるような複素環式酸素化合物の付加重合体（アルデヒドの環状オリゴマーの付加重合体 C 0 8 G 2 / 0 0 ） [ 2 ]
6/00	アルデヒドまたはケトンのみの重縮合体 [ 2 ]
6/02	・アルデヒドのケトンとの [ 2 ]
8/00	アルデヒドまたはケトンのフェノールのみとの重縮合体 [ 2 ]
8/02	・ケトンの [ 2 ]
8/04	・アルデヒドの [ 2 ]
8/06	・フルフラールの [ 2 ]
8/08	・ホルムアルデヒドの、例、その場で形成されたホルムアルデヒドの [ 2 ]
8/10	・フェノール（石炭酸）との [ 2 ]
8/12	・ただ一個の炭化水素置換基を O H 基に対してオルソまたはパラ位置に有する一価フェノールとの、例、p 第三ブチルフェノール [ 2 ]
8/14	・ハロゲン化フェノールとの [ 2 ]
8/16	・アミノ またはニトロフェノールとの [ 2 ]
8/18	・カルボン酸またはスルホン酸基で置換されたフェノールとの [ 2 ]
8/20	・多価フェノールとの [ 2 ]
8/22	・レゾルシノール [ 2 ]

8/24	・ ・ ・ グループ C 0 8 G 8 / 1 0 ~ C 0 8 G 8 / 2 0 のうちの 1 つのみには属さない 2 種またはそれ以上のフェノールの混合物との [ 2 ]	12/40	・ ・ 化学的に変性された重縮合物 [ 2 ]
8/26	・ アルデヒドとケトンの混合物からの [ 2 ]	12/42	・ ・ ・ エーテル化によるもの [ 2 ]
8/28	・ 化学的に変性された重縮合物 [ 2 ]	12/44	・ ・ ・ エステル化によるもの [ 2 ]
8/30	・ ・ 不飽和化合物によるもの, 例 . テルペン [ 2 ]	12/46	・ 高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]
8/32	・ ・ 有機酸またはその誘導体によるもの, 例 . 脂肪油 [ 2 ]	14/00	アルデヒドまたはケトンの, グループ C 0 8 G 8 / 0 0 ~ C 0 8 G 1 2 / 0 0 の少くとも 2 つに属する 2 種またはそれ以上の他の単量体との重縮合体 [ 2 ]
8/34	・ ・ 天然樹脂または樹脂酸によるもの, 例 . ロジン [ 2 ]	14/02	・ アルデヒドの [ 2 ]
8/36	・ ・ エーテル化によるもの [ 2 ]	14/04	・ ・ フェノールとの [ 2 ]
8/38	・ 高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]	14/06	・ ・ ・ フェノールおよび窒素に結合した水素を含む単量体との [ 2 ]
10/00	アルデヒドまたはケトンの芳香族炭化水素またはハロゲン化芳香族炭化水素のみとの重縮合体 [ 2 ]	14/067	・ ・ ・ ・ 非環状または炭素環状単量体 [ 5 ]
10/02	・ アルデヒドの [ 2 ]	14/073	・ ・ ・ ・ ・ アミン [ 5 ]
10/04	・ ・ 化学的に変性された重縮合物 [ 2 ]	14/08	・ ・ ・ ・ ・ 尿素 ; チオ尿素 [ 2 , 5 ]
10/06	・ 高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]	14/09	・ ・ ・ ・ 複素環単量体 [ 5 ]
12/00	アルデヒドまたはケトンの, 窒素に結合した水素を有する化合物のみとの重縮合体 ( アミノフェノール C 0 8 G 8 / 1 6 ) [ 2 ]	14/10	・ ・ ・ ・ ・ メラミン [ 2 , 5 ]
12/02	・ アルデヒドの [ 2 ]	14/12	・ ・ ・ 化学的に変性された重縮合物 [ 2 ]
12/04	・ ・ 非環式または炭素環式化合物との [ 2 ]	14/14	・ 高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]
12/06	・ ・ ・ アミン [ 2 ]	16/00	アルデヒドまたはケトンの, グループ C 0 8 G 4 / 0 0 から C 0 8 G 1 4 / 0 0 に属さない単量体との重縮合体 [ 2 ]
12/08	・ ・ ・ ・ 芳香族 [ 2 ]	16/02	・ アルデヒドの [ 2 ]
12/10	・ ・ ・ X = C ( N < ) <sub>2</sub> ( X は O , S または N ) なる構造を有する非環式化合物との [ 2 ]	16/04	・ ・ 化学的に変性された重縮合物 [ 2 ]
12/12	・ ・ ・ ・ 尿素 ; チオ尿素 [ 2 ]	16/06	・ 高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重縮合することによりつくられたブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]
12/14	・ ・ ・ ・ ジシアンジアミド ; ジシアンジアミジン ; グアニジン ; ビグアニド ; ピューレット ; セミカルバジド [ 2 ]	18/00	イソシアネートまたはイソチオシアネートの重合生成物 [ 2 ]
12/16	・ ・ ・ ・ ・ ジシアンジアミド [ 2 ]	注 このグループにおいては, グループ 1 0 1 / 0 0 のインデキシングコードを付与することが望ましい。 [ 5 ]	
12/18	・ ・ ・ シアナミドとの [ 2 ]		
12/20	・ ・ ・ ウレタンまたはチオウレタンとの [ 2 ]	18/02	・ イソシアネートまたはイソチオシアネートのみの [ 2 ]
12/22	・ ・ ・ カルボン酸アミドとの [ 2 ]	18/04	・ ビニル化合物との [ 2 ]
12/24	・ ・ ・ スルホン酸アミドとの [ 2 ]	18/06	・ 活性水素を有する化合物との [ 2 ]
12/26	・ ・ 複素環式化合物との [ 2 ]	18/08	・ ・ 方法 [ 2 ]
12/28	・ ・ ・ 置換ジアジン, ジアゾールまたはトリアゾールとの [ 2 ]	18/09	・ ・ ・ イソシアネート基あるいはイソチオシアネート基の一部が反応混合物の中で起こす相互反応を伴う, イソシアネートまたはイソチオシアネートのオリゴメリゼーションを含むもの [ 7 ]
12/30	・ ・ ・ 置換トリアジンとの [ 2 ]	18/10	・ ・ ・ イソシアネートまたはイソチオシアネートと活性水素を有する化合物との最初の反応段階における反応を伴うブレボリマー法 [ 2 ]
12/32	・ ・ ・ ・ メラミン [ 2 ]	18/12	・ ・ ・ ・ 第一重合段階において活性水素を有する 2 またはそれ以上の化合物を用いるもの [ 2 ]
12/34	・ ・ ・ 複素環式化合物と非環式または炭素環式化合物との [ 2 ]		
12/36	・ ・ ・ ・ 尿素 ; チオ尿素 [ 2 ]		
12/38	・ ・ ・ ・ ・ およびメラミン [ 2 ]		

18/16	・ ・ ・ 触媒 [ 2 ]	18/69	・ ・ ・ ・ 共役ジエンの重合体 [ 2 ]
18/18	・ ・ ・ ・ 第二または第三アミンまたはそれらの塩を含むもの [ 2 ]	18/70	・ ・ 用いられたイソシアネートまたはイソチオシアネートに特徴のあるもの [ 2 ]
18/20	・ ・ ・ ・ ・ 複素環式アミン ; その塩 [ 2 ]	18/71	・ ・ ・ モノイソシアネートまたはモノイソチオシアネート [ 2 ]
18/22	・ ・ ・ ・ ・ 金属化合物を含むもの [ 2 ]	18/72	・ ・ ・ ポリイソシアネートまたはポリイソチオシアネート [ 2 ]
18/24	・ ・ ・ ・ ・ すず化合物 [ 2 ]	18/73	・ ・ ・ ・ 非環式 [ 2 ]
18/26	・ ・ ・ ・ ・ 鉛化合物 [ 2 ]	18/74	・ ・ ・ ・ 環式 [ 2 ]
18/28	・ ・ 活性水素含有使用化合物に特徴のあるもの [ 2 ]	18/75	・ ・ ・ ・ ・ 環式脂肪族 [ 2 ]
注		18/76	・ ・ ・ ・ ・ 芳香族 [ 2 ]
このグループにおいて、発泡体材料製造のための水の添加は考慮しない。 [ 2 ]		18/77	・ ・ ・ ・ ・ イソシアネートまたはイソチオシアネートの窒素および酸素または硫黄以外にさらに異種原子を有するもの [ 2 ]
18/30	・ ・ ・ 低分子量化合物 [ 2 ]	18/78	・ ・ ・ ・ ・ 窒素 [ 2 ]
18/32	・ ・ ・ ・ ・ ポリヒドロキシ化合物 ; ポリアミン ; ヒドロキシアミン [ 2 ]	18/79	・ ・ ・ ・ ・ ・ イソシアネートまたはイソチオシアネートのオリゴメリゼーションにより形成された基をもつポリイソシアネートの使用に特徴のあるもの [ 2 ]
18/34	・ ・ ・ ・ ・ カルボン酸 ; そのモノヒドロキシ化合物とのエステル [ 2 ]	18/80	・ ・ ・ ・ 封鎖されたポリイソシアネート [ 2 ]
18/36	・ ・ ・ ・ ・ 高級脂肪酸のヒドロキシル化エステル [ 2 ]	18/81	・ ・ ・ 不飽和イソシアネートまたはイソチオシアネート [ 2 ]
18/38	・ ・ ・ ・ 酸素以外の異種原子を有するもの ( C 0 8 G 1 8 / 3 2 が優先 ) [ 2 ]	18/82	・ ・ 重合後の処理 [ 2 ]
18/40	・ ・ ・ 高分子量化合物 [ 2 ]	18/83	・ ・ 化学的に変性された重合体 [ 2 ]
18/42	・ ・ ・ ・ 主鎖にカルボン酸エステルまたは炭酸エステル基を有する重縮合物 [ 2 ]	18/84	・ ・ ・ アルデヒドによるもの [ 2 ]
18/44	・ ・ ・ ・ ・ ポリカーボネート [ 2 ]	18/85	・ ・ ・ アゾ化合物によるもの [ 2 ]
18/46	・ ・ ・ ・ ・ 酸素以外の異種原子を有するもの [ 2 ]	18/86	・ ・ ・ 過酸化物によるもの [ 2 ]
18/48	・ ・ ・ ・ ・ ポリエーテル [ 2 ]	18/87	・ ・ ・ いおうによるもの [ 2 ]
18/50	・ ・ ・ ・ ・ 酸素以外の異種原子を有するもの [ 2 ]	59/00	1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する重縮合物 ; エポキシ重縮合物と単官能性低分子量化合物との反応によって得られる高分子化合物 ; エポキシ基と反応する硬化剤または触媒を用いて 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する化合物を重合することにより得られる高分子化合物 [ 2 ]
18/52	・ ・ ・ ・ ・ ポリチオエーテル [ 2 ]	59/02	・ 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する重縮合物 [ 2 ]
18/54	・ ・ ・ ・ ・ アルデヒドの重縮合物 [ 2 ]	59/04	・ ・ ポリヒドロキシ化合物のエピハロヒドリンまたはその前駆物質との [ 2 ]
18/56	・ ・ ・ ・ ・ ポリアセタール [ 2 ]	59/06	・ ・ ・ 多価フェノールの [ 2 ]
18/58	・ ・ ・ ・ ・ エポキシ樹脂 [ 2 ]	59/08	・ ・ ・ ・ フェノール アルデヒド縮合物からの [ 2 ]
18/60	・ ・ ・ ・ ・ ポリアミドまたはポリエステルアミド [ 2 ]	59/10	・ ・ ポリアミンのエピハロヒドリンまたはその前駆物質との [ 2 ]
18/61	・ ・ ・ ・ ・ ポリシロキサン [ 2 ]	59/12	・ ・ ポリカルボン酸のエピハロヒドリンまたはその前駆物質との [ 2 ]
18/62	・ ・ ・ ・ 炭素 炭素二重結合を有する化合物の重合体 [ 2 ]	59/14	・ 化学的後処理により変性された重縮合物 [ 2 ]
18/63	・ ・ ・ ・ 重合体に炭素 炭素二重結合を有する化合物を重合することによって得られるブロックまたはグラフト重合体 [ 2 ]	59/16	・ ・ モノカルボン酸によるもの、またはその酸無水物、ハライドまたは低分子量エステルによるもの [ 2 ]
18/64	・ ・ ・ ・ グループ C 0 8 G 1 8 / 4 2 ~ C 0 8 G 1 8 / 6 3 に分類されない高分子化合物 [ 2 ]	59/17	・ ・ ・ アクリル酸またはメタクリル酸によ
18/65	・ ・ ・ 活性水素を有する高分子量化合物を含む活性水素を有する低分子量化合物 [ 2 ]		
18/66	・ ・ ・ ・ グループ C 0 8 G 1 8 / 4 2 , C 0 8 G 1 8 / 4 8 または C 0 8 G 1 8 / 5 2 の化合物 [ 2 ]		
18/67	・ ・ ・ 活性水素を有する不飽和化合物 [ 2 ]		
18/68	・ ・ ・ ・ 不飽和ポリエステル [ 2 ]		

- るもの [ 4 ]
- 59/18 ・エポキシ基と反応する硬化剤または触媒を用いて 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含む化合物を重合することにより得られる高分子化合物 [ 2 ]
- 59/20 ・用いられたエポキシ化合物に特徴のあるもの [ 2 ]
- 注  
エポキシ重縮合物の製造と硬化であって、そのエポキシ重縮合物が低分子量化合物に限られず、その硬化法に特徴のないものは、グループ 5 9 / 0 2 にのみ分類する。 [ 2 ]
- 59/22 ・ジエポキシ化合物 [ 2 ]
- 59/24 ・炭素環式 [ 2 ]
- 59/26 ・複素環式 [ 2 ]
- 59/28 ・非環式窒素原子を含むもの [ 2 ]
- 59/30 ・炭素、水素、酸素および窒素以外の原子を含むもの [ 2 ]
- 59/32 ・3 個またはそれ以上のエポキシ基を含むエポキシ化合物 [ 2 ]
- 59/34 ・不飽和重合体のエポキシ化により得られるもの [ 2 ]
- 59/36 ・モノエポキシ化合物と共に用いるもの [ 2 ]
- 59/38 ・ジエポキシ化合物と共に用いるもの [ 2 ]
- 59/40 ・用いられた硬化剤に特徴のあるもの [ 2 ]
- 59/42 ・ポリカルボン酸；その酸無水物、ハライドまたは低分子量エステル [ 2 ]
- 59/44 ・アミド [ 2 ]
- 59/46 ・他の硬化剤と共に用いるもの [ 2 ]
- 59/48 ・ポリカルボン酸と共に、またはその酸無水物、ハライドまたは低分子量エステルと共に用いるもの [ 2 ]
- 59/50 ・アミン [ 2 ]
- 59/52 ・アミノカルボン酸 [ 2 ]
- 59/54 ・アミノアミド [ 2 ]
- 59/56 ・他の硬化剤と共に用いるもの [ 2 ]
- 59/58 ・ポリカルボン酸と共に、またはその酸無水物、ハライドまたは低分子量エステルと共に用いるもの [ 2 ]
- 59/60 ・アミドと共に用いるもの [ 2 ]
- 59/62 ・アルコールまたはフェノール [ 2 ]
- 59/64 ・アミノアルコール [ 2 ]
- 59/66 ・メルカプタン [ 2 ]
- 59/68 ・用いられた触媒に特徴のあるもの [ 2 ]
- 59/70 ・キレート [ 2 ]
- 59/72 ・ハロゲン化ほう素の錯体 [ 2 ]

## 注

グループ 6 1 / 0 0 から 7 9 / 0 0 においては、相反する指示がない限り、主鎖に 2 種の異なる結合を形成する反応により得られる高分子化合物は、過剰に存在する結合にのみ従って分類する。 [ 2 ]

- 61/00 高分子の主鎖に炭素 炭素連結基を形成す

る反応により得られる高分子化合物 ( C 0 8 G 2 / 0 0 ~ C 0 8 G 1 6 / 0 0 が優先 ) [ 2 ]

- 61/02 高分子の主鎖に炭素原子のみを含む高分子化合物、例、ポリキシレン [ 2 ]
- 61/04 ・脂肪族炭素原子のみを含むもの [ 2 ]
- 61/06 ・炭素環式化合物の開環によりつくられるもの [ 2 ]
- 61/08 ・環中に 1 個またはそれ以上の炭素炭素二重結合を含む炭素環式化合物の [ 2 ]
- 61/10 ・芳香族炭素原子のみを含むもの、例、ポリフェニレン [ 2 ]
- 61/12 高分子の主鎖に炭素以外の原子を含む高分子化合物 [ 2 ]
- 63/00 高分子の主鎖にカルボン酸エステル連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 ( ポリエステル アミド C 0 8 G 6 9 / 4 4 ; ポリエステル イミド C 0 8 G 7 3 / 1 6 ) [ 2 0 0 6 . 0 1 ]

## 注

ポリエステルの化学構造によって特徴づけられる化合物はポリエステル化合物の型に対応するグループに分類する。ポリエステルの製造方法によって特徴づけられる化合物は採用された方法に対応するグループ C 0 8 G 6 3 / 7 8 ~ C 0 8 G 6 3 / 8 7 に分類する。化学構造と製造方法の両方によって特徴づけられる化合物は各々の観点に従って分類する。

- 63/02 ・ヒドロキシカルボン酸からまたはポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物から誘導されるポリエステル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/06 ・ヒドロキシカルボン酸から誘導されたもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/08 ・ラクトンまたはラクチド [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/12 ・ポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物とから誘導されるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/123 ・炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/127 ・芳香族環を含む酸 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/13 ・2 つ以上の芳香族環を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/133 ・芳香族環を含むヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/137 ・脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/16 ・ジカルボン酸およびジヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/18 ・炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
- 63/181 ・芳香族環を含む酸 [ 2 0 0 6 .

	0 1 ]		1 成分が脂肪族不飽和を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/183	・ ・ ・ ・ ・ テレフタル酸 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/54	・ ・ ・ ・ ・ 炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/185	・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の芳香族環を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/547	・ ・ ・ ・ ・ 芳香族環を含むヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/187	・ ・ ・ ・ ・ 縮合芳香族環を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/553	・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物, 例 . ディールス アルダー付加物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/189	・ ・ ・ ・ ・ ナフタリン環を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/56	・ ・ ・ ・ ・ ポリカルボン酸またはポリヒドロキシ化合物の, それらのエステル以外の, エステル形成性誘導体から誘導されたポリエステル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/19	・ ・ ・ ・ ・ 芳香族環を含むヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/58	・ ・ ・ ・ ・ 環状エーテル ( C 0 8 G 5 9 / 0 0 が優先 ); 環状カーボネート; 環状サルファイト [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/191	・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキノン [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/60	・ ・ ヒドロキシカルボン酸, ポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物の混合物の反応から誘導されるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/193	・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の芳香族環を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/64	・ カルボン酸エステル基および炭酸エステル基を共に含むポリエステル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/195	・ ・ ・ ・ ・ ビスフェノール A [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/66	・ エーテル基の形で酸素を含むポリエステル ( C 0 8 G 6 3 / 4 2 , C 0 8 G 6 3 / 5 8 が優先 ) [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/197	・ ・ ・ ・ ・ 縮合芳香族環を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/664	・ ヒドロキシカルボン酸から誘導されるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/199	・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/668	・ ・ ポリカルボン酸とポリヒドロキシ化合物から誘導されるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/20	・ ・ ・ ・ ・ 1 つの反応性基または 2 つ以上の反応性基を持つ化合物の存在下で製造されるポリエステル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/672	・ ・ ・ ジカルボン酸とジヒドロキシ化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/21	・ ・ ・ ・ ・ 不飽和モノカルボン酸または不飽和一価アルコールまたはそれらの反応性誘導体の存在下のもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/676	・ ・ ・ 2 成分のうち少なくとも 1 成分が脂肪族不飽和を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/40	・ ・ ・ ポリカルボン酸のまたはポリヒドロキシ化合物の, それらのエステル以外の, エステル形成性誘導体から誘導されたポリエステル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/68	・ 炭素, 水素および酸素以外の原子を含むポリエステル ( C 0 8 G 6 3 / 6 4 が優先 ) [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/42	・ ・ ・ ・ 環状エーテル ( C 0 8 G 5 9 / 0 0 が優先 ); 環状カーボネート; 環状サルファイト; 環状オルトエステル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/682	・ ・ ハロゲンを含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/44	・ ・ ・ ・ ・ ポリアミド; ポリニトリル [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/685	・ ・ 窒素を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/46	・ ・ ・ エステル化によって化学的に変性されたポリエステル ( C 0 8 G 6 3 / 2 0 が優先 ) [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/688	・ ・ いおうを含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/47	・ ・ ・ ・ 不飽和モノカルボン酸または不飽和一価アルコールまたはそれらの反応性誘導体によるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/692	・ ・ りんを含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/48	・ ・ ・ ・ 不飽和高级脂肪油またはその酸によるもの: 樹脂酸によるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/695	・ ・ けい素を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/49	・ ・ ・ ・ ・ アルキッド樹脂 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/698	・ ・ ほう素を含むもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/50	・ ・ ・ ・ ・ 一価アルコールによるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]	63/78	・ 製造法 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/52	・ ・ ・ ポリカルボン酸またはポリヒドロキシ化合物であって 2 成分のうち少なくとも	63/79	・ ・ 界面的方法, すなわち 2 つの非混和性液体の界面での反応を含む方法 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
		63/80	・ ・ 固相重縮合 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
		63/81	・ ・ 溶媒を用いるもの ( C 0 8 G 6 3 / 7 9 が優先 ) [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
		63/82	・ ・ 用いられた触媒に特徴があるもの [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
		63/83	・ ・ アルカリ金属, アルカリ土類金属,

	ベリリウム, マグネシウム, 銅, 銀, 金, 亜鉛, カドミウム, 水銀, マンガン, またはそれらの化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/84	・ ・ ・ ほう素, アルミニウム, ガリウム, インジウム, タリウム, 希土類金属, またはそれらの化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/85	・ ・ ・ ゲルマニウム, スズ, 鉛, ひ素, アンチモン, ビスマス, チタン, ジルコニウム, ハフニウム, パナジウム, ニオブ, タantal, またはそれらの化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/86	・ ・ ・ ・ ゲルマニウム, アンチモン, またはそれらの化合物 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/87	・ ・ ・ 非金属またはその相互間化合物 ( ほう素 C 0 8 G 6 3 / 8 4 ) [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/88	・ 重合後の処理 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/89	・ ・ 重合体の回収 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/90	・ ・ 精製; 乾燥 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
63/91	・ 化学的後処理による変性された重合体 [ 2 0 0 6 . 0 1 ]
64/00	高分子の主鎖に炭酸エステル連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 ( ポリカーボネート アミド C 0 8 G 6 9 / 4 4 ; ポリカーボネート イミド C 0 8 G 7 3 / 1 6 ) [ 5 ]

## 注

カルボン酸エステル基および炭酸エステル基を共に含む重合体は、炭酸エステル基がカルボン酸エステル基より多く含まれている場合でも、常に 6 3 / 6 4 に分類する。[ 5 ]

64/02	・ 脂肪族ポリカーボネート [ 5 ]
64/04	・ 芳香族ポリカーボネート [ 5 ]
64/06	・ ・ 不飽和脂肪族を含有しないもの [ 5 ]
64/08	・ ・ ・ 炭素, 水素または酸素以外の原子を含有するもの [ 5 ]
64/10	・ ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの [ 5 ]
64/12	・ ・ ・ ・ 窒素を含有するもの [ 5 ]
64/14	・ ・ ・ 連鎖停止剤または鎖架橋剤を含有するもの [ 5 ]
64/16	・ 脂肪族 芳香族または芳香脂肪族ポリカーボネート [ 5 ]
64/18	・ ブロックまたはグラフト重合体 [ 5 ]
64/20	・ 製造法一般 [ 5 ]
64/22	・ ・ ハロゲン化カルボニルを用いるもの [ 5 ]
64/24	・ ・ ・ およびフェノール [ 5 ]
64/26	・ ・ ハロゲン化カーボネートを用いるもの [ 5 ]
64/28	・ ・ ・ およびフェノール [ 5 ]
64/30	・ ・ カーボネートを用いるもの [ 5 ]
64/32	・ ・ 二酸化炭素を用いるもの [ 5 ]
64/34	・ ・ ・ および環状エーテル [ 5 ]
64/36	・ ・ 一酸化炭素を用いるもの [ 5 ]
64/38	・ ・ 他の単量体を用いるもの [ 5 ]

64/40	・ 重合後の処理 [ 5 ]
64/42	・ 化学的後処理 [ 5 ]
65/00	高分子の主鎖にエーテル連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 ( エポキシ樹脂 C 0 8 G 5 9 / 0 0 ; ポリチオエーテル エーテル C 0 8 G 7 5 / 1 2 ; 1 0 以下の単量体単位を含むポリエーテル C 0 7 C ) [ 2 ]
65/02	・ 複素環の開環による環状エーテルからの [ 2 ]
65/04	・ ・ 環状エーテルのみからの [ 2 ]
65/06	・ ・ ・ 環外に炭素および水素以外の原子を有しない環状エーテル [ 2 ]
65/08	・ ・ ・ ・ 飽和オキシラン [ 2 ]
65/10	・ ・ ・ ・ ・ 用いられた触媒に特徴のあるものの [ 2 ]
65/12	・ ・ ・ ・ ・ 有機金属化合物または金属水素化物を含むもの [ 2 ]
65/14	・ ・ ・ ・ 不飽和オキシラン [ 2 ]
65/16	・ ・ ・ ・ 4 個またはそれ以上の環形成原子を有する環状エーテル [ 2 ]
65/18	・ ・ ・ ・ ・ オキセタン [ 2 ]
65/20	・ ・ ・ ・ ・ テトラヒドロフラン [ 2 ]
65/22	・ ・ ・ 環外に炭素および水素以外の少くとも 1 個の原子を有する環状エーテル [ 2 ]
65/24	・ ・ ・ ・ エピハロヒドリン [ 2 ]
65/26	・ ・ 環状エーテルおよび他の化合物からの [ 2 ]
65/28	・ ・ ・ 環式エーテルおよびヒドロキシ化合物 [ 2 ]
65/30	・ ・ 重合後の処理, 例: 回収, 精製, 乾燥 [ 2 ]
65/32	・ ・ 化学的後処理により変性された重合体 [ 2 ]
65/321	・ ・ ・ 無機化合物による [ 7 ]
65/322	・ ・ ・ ・ 水素を含むもの [ 7 ]
65/323	・ ・ ・ ・ ハロゲンを含むもの [ 7 ]
65/324	・ ・ ・ ・ 酸素を含むもの [ 7 ]
65/325	・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの [ 7 ]
65/326	・ ・ ・ ・ ・ いおうを含むもの [ 7 ]
65/327	・ ・ ・ ・ ・ りんを含むもの [ 7 ]
65/328	・ ・ ・ ・ ・ その他の元素を含むもの [ 7 ]
65/329	・ ・ ・ 有機化合物による [ 7 ]
65/331	・ ・ ・ ・ 酸素を含むもの [ 7 ]
65/332	・ ・ ・ ・ ・ カルボキシル基, またはそのハライドまたはエステルを含むもの [ 7 ]
65/333	・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの [ 7 ]
65/334	・ ・ ・ ・ ・ いおうを含むもの [ 7 ]
65/335	・ ・ ・ ・ ・ りんを含むもの [ 7 ]
65/336	・ ・ ・ ・ ・ けい素を含むもの [ 7 ]
65/337	・ ・ ・ ・ ・ その他の元素を含むもの ( カルボキシル基のハライドとしてのみハロゲンを含む有機化合物 C 0 8 G 6 5 / 3 3

	2 ) [ 7 ]	69/36	・ ・ アミノ酸，ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるもの [ 2 ]
65/338	・ ・ ・ 無機化合物と有機化合物とによる [ 7 ]	69/38	・ アルデヒドおよびポリニトリルから製造されるポリアミド [ 2 ]
65/34	・ ヒドロキシ化合物またはその金属誘導体からの ( C 0 8 G 6 5 / 2 8 が優先 ) [ 2 ]	69/40	・ エーテル基の形で酸素を含むポリアミド ( C 0 8 G 6 9 / 1 2 , C 0 8 G 6 9 / 3 2 が優先 ) [ 2 ]
65/36	・ ・ フルフルリアルアルコール [ 2 ]	69/42	・ 炭素，水素，酸素および窒素以外の原子を含むポリアミド ( C 0 8 G 6 9 / 1 2 , C 0 8 G 6 9 / 3 2 が優先 ) [ 2 ]
65/38	・ ・ フェノールから誘導されるもの [ 2 ]	69/44	・ ポリエステル アミド [ 2 ]
65/40	・ ・ ・ フェノールおよび他の化合物からの [ 2 ]	69/46	・ 重合後の処理 [ 2 ]
65/42	・ ・ ・ ・ フェノールおよびポリヒドロキシエーテル [ 2 ]	69/48	・ 化学的後処理により変性された重合体 [ 2 ]
65/44	・ ・ ・ フェノールの酸化によるもの [ 2 ]	69/50	・ ・ アルデヒドによるもの [ 2 ]
65/46	・ ・ 重合後の処理，例．回収，精製，乾燥 [ 2 ]	71/00	高分子の主鎖にイソシアネート基以外からのウレイドまたはウレタン連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [ 2 ]
65/48	・ ・ 化学的後処理により変性された重合体 [ 2 ]	71/02	・ ポリ尿素 [ 2 ]
67/00	グループ C 0 8 G 2 / 0 0 ~ C 0 8 G 6 5 / 0 0 に属さない，酸素または酸素と炭素を含む連結基を高分子の主鎖に形成する反応により得られる高分子化合物 [ 2 ]	71/04	・ ポリウレタン [ 2 ]
67/02	・ 一酸化炭素および脂肪族不飽和化合物の共重合体 [ 2 ]	73/00	グループ C 0 8 G 1 2 / 0 0 ~ C 0 8 G 7 1 / 0 0 に属さない，高分子の主鎖に酸素または炭素を有しまたは有せずに窒素を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [ 2 ]
67/04	・ ポリ酸無水物 [ 2 ]	73/02	・ ポリアミン ( 1 0 以下の単量体単位を含むもの C 0 7 C ) [ 2 ]
69/00	高分子の主鎖にカルボン酸アミド連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 ( ポリヒドラジド C 0 8 G 7 3 / 0 8 ; ポリアミド酸 C 0 8 G 7 3 / 1 0 ; ポリアミドイミド C 0 8 G 7 3 / 1 4 ) [ 2 ]	73/04	・ ・ アルキレンイミンから誘導されるもの [ 2 ]
69/02	・ アミノカルボン酸からまたはポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるポリアミド [ 2 ]	73/06	・ 高分子の主鎖に窒素含有複素環を有する重縮合物；ポリヒドラジド；ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [ 2 ]
69/04	・ ・ 製造法 [ 2 ]	73/08	・ ・ ポリヒドラジド；ポリトリアゾール；ポリアミノ トリアゾール；ポリオキサジアゾール [ 2 ]
69/06	・ ・ ・ 固相重縮合 [ 2 ]	73/10	・ ・ ポリイミド；ポリエステル イミド；ポリアミド イミド；ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [ 2 ]
69/08	・ ・ アミノカルボン酸から誘導されるもの [ 2 ]	73/12	・ ・ ・ 不飽和ポリイミド前駆物質 [ 2 ]
69/10	・ ・ ・ アミノカルボン酸 [ 2 ]	73/14	・ ・ ・ ポリアミド イミド [ 2 ]
69/12	・ ・ ・ アミノ基およびカルボキシル基が共に芳香族に結合したもの [ 2 ]	73/16	・ ・ ・ ポリエステル イミド [ 2 ]
69/14	・ ・ ・ ラクタム [ 2 ]	73/18	・ ・ ポリベンズイミダゾール [ 2 ]
69/16	・ ・ ・ ・ 製造法 [ 2 ]	73/20	・ ・ ピロン [ 2 ]
69/18	・ ・ ・ ・ ・ アニオン重合 [ 2 ]	73/22	・ ・ ポリベンズオキサゾール [ 2 ]
69/20	・ ・ ・ ・ ・ 用いられた触媒に特徴のあるもの [ 2 ]	73/24	・ フルオロニトロソ有機化合物および他のフルオロ有機化合物の共重合体，例．ニトロソゴム [ 2 ]
69/22	・ ・ ・ ・ ラクタム [ 2 ]	73/26	・ ・ トリフルオロニトロソメタンのフルオロ オレフィンとの共重合体 [ 2 ]
69/24	・ ・ ・ ・ ・ ピロリドンまたはヒペリドン [ 2 ]	75/00	高分子の主鎖に窒素，酸素または炭素を有しまたは有せずにいおうを含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [ 2 ]
69/26	・ ・ ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるもの [ 2 ]		
69/28	・ ・ ・ 製造法 [ 2 ]		
69/30	・ ・ ・ ・ 固相重縮合 [ 2 ]		
69/32	・ ・ ・ アミノ基およびカルボキシル基が共に芳香族に結合した芳香族ジアミンおよび芳香族ジカルボン酸からの [ 2 ]		
69/34	・ ・ ・ 重合した不飽和脂肪酸を用いるもの [ 2 ]		

- 75/02 ・ポリチオエーテル [ 2 , 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0204 ・・ポリアリーレンチオエーテル [ 2 0 1 6 . 0 1 ]

## 注

( 1 ) このグループでは、高分子化合物は以下のグループの集合体のいずれかと関連する発明的観点に基づいて分類される

- ・ C 0 8 G 7 5 / 0 2 0 9 ~ C 0 8 G 7 5 / 0 2 4 5 ;  
 ・ C 0 8 G 7 5 / 0 2 5 ~ C 0 8 G 7 5 / 0 2 6 8 ;  
 ・ C 0 8 G 7 5 / 0 2 7 7 ~ C 0 8 G 7 5 / 0 2 8 1 ; [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 ・ C 0 8 G 7 5 / 0 2 8 6 ~ C 0 8 G 7 5 / 0 2 9 5

( 2 ) ( 1 ) に示されたグループの各集合体において、ラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り最後の適切な箇所に分類する。  
 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]

- 75/0209 ・・・ 1 個の芳香環を持つ単量体から誘導されたもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0213 ・・・炭素、水素またはいおう以外の元素を含むもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0222 ・・・・窒素を含むもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0227 ・・・ 2 個以上の芳香環を持つ単量体から誘導されたもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0231 ・・・連鎖停止剤または分岐剤を含有するもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0236 ・・・アリーレン基間の連結基において炭素またはいおう以外の原子を含むもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/024 ・・・カルボニル基を含むもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0245 ・・・ブロック重合体またはグラフト重合体 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/025 ・・・製造法 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0254 ・・・金属硫化物を用いるもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0259 ・・・金属硫化水素を用いるもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0263 ・・・元素いおうを用いるもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0268 ・・・ジスルフィドを用いるもの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0277 ・・・重合後の処理 ( 化学的後処理 C 0 8 G 7 5 / 0 2 8 6 ) [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0281 ・・・回収または精製 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0286 ・・・化学的後処理 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/029 ・・・有機化合物による変性 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/0295 ・・・無機化合物による変性 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/04 ・・メルカプト化合物またはその金属誘導体からの ( C 0 8 G 7 5 / 0 2 0 4 が優先 ) [ 2 , 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/045 ・・・メルカプト化合物と不飽和化合物か

らの [ 2 0 1 6 . 0 1 ]

- 75/06 ・・環状チオエーテルからの [ 2 ]  
 75/08 ・・・チランからの [ 2 ]  
 75/10 ・・いおうまたはいおう含有化合物およびアルデヒドまたはケトンからの [ 2 ]  
 75/12 ・ポリチオエーテル エーテル ( C 0 8 G 7 5 / 0 2 4 5 が優先 ) [ 2 , 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/14 ・ポリスルフィド [ 2 ]  
 75/16 ・・有機化合物の無機ポリスルフィドとの重縮合によるもの [ 2 ]  
 75/18 ・ポリスルホキシド [ 2 ]  
 75/20 ・ポリスルホン [ 2 , 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/205 ・・二酸化いおうと不飽和有機化合物との共重合体 [ 2 0 1 6 . 0 1 ]  
 75/22 ・・・二酸化いおうの不飽和脂肪族化合物との共重合体 [ 2 ]  
 75/23 ・・ポリエーテルスルホン [ 2 ]  
 75/24 ・ポリスルホネート [ 2 ]  
 75/26 ・ポリチオエステル [ 2 ]  
 75/28 ・ポリチオカーボネート [ 2 ]  
 75/30 ・ポリスルホンアミド; ポリスルホンイミド [ 2 ]  
 75/32 ・ポリチアゾール; ポリチアジアゾール [ 2 ]  
 77/00 高分子の主鎖にいおう、窒素、酸素または炭素を有しまたは有せずにはけい素を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [ 2 ]  
 77/02 ・ポリシリケート [ 2 ]  
 77/04 ・ポリシロキサン [ 2 ]  
 77/06 ・・製造法 [ 2 ]  
 77/08 ・・用いられた触媒に特徴のあるもの [ 2 ]  
 77/10 ・・・平衡法 [ 2 ]  
 77/12 ・・水素に結合したけい素を含むもの [ 2 ]  
 77/14 ・・酸素含有基に結合したけい素を含むもの [ 2 ]  
 77/16 ・・・水酸基に [ 2 ]  
 77/18 ・・・アルコキシまたはアリルオキシ基に [ 2 ]  
 77/20 ・・不飽和脂肪族基に結合したけい素を含むもの [ 2 ]  
 77/22 ・・炭素、水素および酸素以外の原子を含む有機基に結合したけい素を含むもの [ 2 ]  
 77/24 ・・・ハロゲン含有基 [ 2 ]  
 77/26 ・・・窒素含有基 [ 2 ]  
 77/28 ・・・いおう含有基 [ 2 ]  
 77/30 ・・・りん含有基 [ 2 ]  
 77/32 ・・重合後の処理 [ 2 ]  
 77/34 ・・・精製 [ 2 ]  
 77/36 ・・・分留 [ 2 ]  
 77/38 ・・化学的後処理により変性されたポリシロキサン [ 2 ]



77/382	・ ・ ・ 炭素，水素，酸素またはけい素以外の原子を含むもの [ 5 ]	81/02	・ 重合体の少くとも 1 種が炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られるもの [ 2 ]
77/385	・ ・ ・ ・ ハロゲンを含むもの [ 5 ]	83/00	グループ C 0 8 G 2 / 0 0 ~ C 0 8 G 8 1 / 0 0 に分類されない高分子化合物 [ 2 ]
77/388	・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの [ 5 ]	85/00	このサブクラスに属する化合物の一般的製造法 [ 2 ]
77/392	・ ・ ・ ・ いおうを含むもの [ 5 ]	<u>発泡体に関し，グループ 1 8 / 0 0 と関連するインデキシング系列 [ 5 ]</u>	
77/395	・ ・ ・ ・ りんを含むもの [ 5 ]	101/00	発泡体の製造 [ 5 ]
77/398	・ ・ ・ ・ ほう素または金属原子を含むもの [ 5 ]		
77/42	・ ポリシロキサン連鎖を含むブロックまたはグラフト重合体（ポリシロキサンへの脂肪族不飽和単量体の重合 C 0 8 F 2 8 3 / 1 2 ） [ 2 ]		
77/44	・ ・ ポリシロキサン連鎖のみを含むもの [ 2 ]		
77/442	・ ・ ビニル重合体連鎖を含むもの [ 5 ]		
77/445	・ ・ ポリエステル連鎖を含むもの [ 5 ]		
77/448	・ ・ ポリカーボネート連鎖を含むもの [ 5 ]		
77/452	・ ・ 窒素含有連鎖を含むもの [ 5 ]		
77/455	・ ・ ・ ポリアミド，ポリエステルアミドまたはポリイミド連鎖を含むもの [ 5 ]		
77/458	・ ・ ・ ポリウレタン連鎖を含むもの [ 5 ]		
77/46	・ ・ ポリエーテル連鎖を含むもの [ 2 ]		
77/48	・ すべてではないが少くとも 2 個のけい素原子が酸素原子以外の連結基により結合されているもの [ 2 ]		
77/50	・ ・ 炭素連結基によるもの [ 2 ]		
77/52	・ ・ ・ 芳香環を含むもの [ 2 ]		
77/54	・ ・ 窒素含有連結基によるもの [ 2 ]		
77/56	・ ・ ほう素含有連結基によるもの [ 2 ]		
77/58	・ ・ 金属含有連結基によるもの [ 2 ]		
77/60	・ すべてのけい素原子が酸素原子以外の連結基により結合されているもの [ 2 ]		
77/62	・ ・ 窒素原子 [ 2 ]		
79/00	高分子の主鎖に，けい素，いおう，窒素，酸素または炭素を有しまたは有せずに，けい素，いおう，窒素，酸素および炭素以外の原子を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [ 2 ]		
79/02	・ りんを含む連結基 [ 2 , 2 0 1 6 . 0 1 ]		
79/025	・ ・ ポリホスファゼン [ 2 0 1 6 . 0 1 ]		
79/04	・ ・ 酸素にまたは酸素および炭素に結合したりん [ 2 ]		
79/06	・ ・ 炭素のみに結合したりん [ 2 ]		
79/08	・ ほう素を含む連結基 [ 2 ]		
79/10	・ アルミニウムを含む連結基 [ 2 ]		
79/12	・ すす含む連結基 [ 2 ]		
79/14	・ 炭素，酸素，窒素，いおうおよびけい素以外の 2 個またはそれ以上の元素を含む連結基 [ 2 ]		
81/00	単量体の不存在下に重合体を相互に反応することにより得られる高分子化合物，例．ブロック重合体（炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によるもの C 0 8 F 2 9 9 / 0 0 ） [ 2 ]		